

## 倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和5年4月20日（木）15：15～15：25
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、事務部長、看護部長、薬剤科長、長嶋医師、末永外部委員、矢崎外部委員

※委員の3分の2以上の出席があるため委員会を開催

### 4. 要旨

課題名 運動準備電位と内受容感覚の関係についての予備的検討  
(申請者 精神科医長 是木明宏(新規))

【申請者】～審査申請書に沿って説明～

【委員】中々、医師以外の委員には分かりづらいのでは。

【申請者】随意生の感覚もしくは自己主体感に内受容感覚が関与していることが健常者において神経心理学的研究で示されてきている。しかし、より客観的かつ生物学的指標である脳波上ではこのような関係性を示した研究はない。統合失調症患者で研究する前に様々な角度からこの関係性を検討することで基礎的データを構築することが目的。

【委員】対象が18～65歳とあるが、年齢毎にデータを取るのか。

【申請者】協力してもらえる方をお願いしていく。

【委員】対象は自己申告による健常者とあるが、睡眠薬の内服者や糖尿病がある方は除外対象となるか。

【申請者】循環器系に影響があるため、睡眠薬の内服者や糖尿病がある方も避けたい。職員中心に呼びかけていきたい。

【委員】前回の申請（別件）では被験者は集まったか。

【申請者】前回申請の研究では、職員30名、患者40名弱集まっている。

### 5. 審査結果

課題名「運動準備電位と内受容感覚の関係についての予備的検討」

→ 全員一致で、承認とする。

修正は募集ポスターのみ  
報酬はギフトカードによることを追記する。

以上